

## 新病院プロジェクト NO.2

新病院工事の進捗状況をお知らせします！

梅雨の時期の現場は、雨天時にできない作業も多く、作業調整が難しい時期となっています。そのような中でも基礎工事が進み、掘削・矢板入れ工事も終盤に差し掛かりました。現場の景色も日々変わり、地下躯体工事に続く上層部躯体工事に向け、クレーンの組立も行われて、**直虎号**（クレーンの愛称）がそびえ立っています。今後も**家康号**、**シジ丸号**等組み立てられ、立ち上がっていきます。



## こども絵画展コーナーを紹介！

今回は仮囲いに新設したこども絵画展コーナーを紹介します！

医療センターで入院されている児童のみなさんが描いてくれた絵を、仮囲いに展示し、「医療センターこども絵画展」コーナーを設けました。アンパンマン、イルカ、トラなど、思い思いに描かれた絵が、現場にも歩行者の方々にも元気をくれます。仮囲いで隔たれていながらも、このような現場内外の繋がりがあるといのは素敵なことですね。今後も描いていただいた絵を随時掲示していきます。

立ち寄った際にはぜひご鑑賞ください。

現在、7月末時点の工事進捗率は、6.2%で、予定通りの進捗となっております。少しずつ、変化していく様子を見て、新病院のイメージが徐々に膨らんでいきます。建設作業が安全に進みますよう職員一同願いながら、2年5か月後に開院する日が待ち遠しいです。



# ふれあい



新病院の完成イメージを動画で公開しています。

下記URLまたはQRコードからご覧ください。

<https://youtu.be/bYMf2rmRWu4>



## 目次

- ① ロボット支援下胸腔鏡手術（ダヴィンチXi）～Q&A～
- ② 診療科紹介 ～新生児科～
- ③ 新病院プロジェクト NO.2
  - ・新病院工事の進捗状況をお知らせします！
  - ・こども絵画展コーナーを紹介！



発行：浜松医療センター  
〒432-8580 浜松市中区富塚町328  
TEL 053 (453) 7111  
URL <https://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください



## ロボット支援下胸腔鏡手術(ダヴィンチXi)～Q&A～

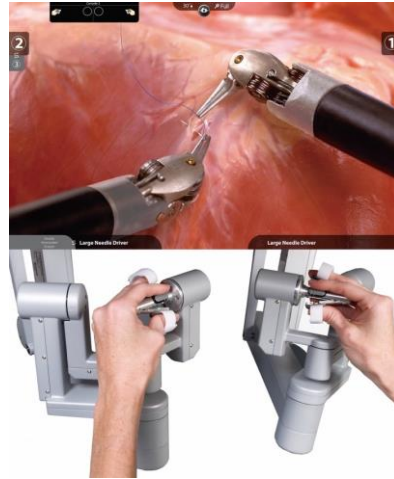


ロボット支援下胸腔鏡手術とは  
どのような手術ですか？



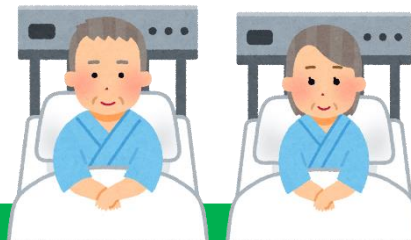
**答え** 胸腔鏡下手術は胸を大きく開けずに、数カ所の孔から内視鏡と長い器械を挿入しモニターを見ながら手術操作を行うため、胸壁の筋肉や肋骨へのダメージが少ないことが利点です。そのため術後の疼痛も軽度で、入院期間の短縮、早期の社会復帰も可能にしています。さらに近年その胸腔鏡下手術操作の精度を高めるためにロボット支援下胸腔鏡手術が導入されています。

ロボット支援下手術の利点は何ですか？



**答え** ①良好な視野の元で手術ができる:術者は3次元高倍率カメラで術野を見ながらロボットを操作します(従来の胸腔鏡手術は2次元映像)。②繊細で正確な手術操作ができる:手術器械は人間の手の関節機能を超える動きをし、術者の緻密な操作に連動します。また手ぶれ防止機能も備えています。術者は従来の開胸手術のように胸の中に手を入れて手術を行う感覚です。これまでの胸腔鏡下手術同様、胸の壁へのダメージは小さいため、ロボット支援下手術では体に優しくより精度の高い手術操作が可能です。

肺がんの手術ではどのくらいの期間入院が必要ですか？



**答え** 通常、手術の2～3日前の入院となります。順調に経過すれば術後約1週間で退院です。ロボット支援下手術では術後5日目に退院できることもあります。

## 診療科紹介 ～新生児科～

浜松医療センター新生児科では、2021年度より新体制での診療をスタートしました。これまで長い間、当院新生児科に貢献して下さった松井浩之先生からバトンを受け取り、新たに新生児科医3名による診療を開始しています。これまでと同様に、新生児科医・小児科医が協力して、24時間体制で診療を行っています。

当院は地域周産期母子医療センターに指定されており、NICUの入院数は年間300～400名と数多くの症例に対応しています。早産・低出生体重児、感染症、新生児黄疸、呼吸障害に対する人工呼吸器管理、新生児遷延性肺高血圧症に対する一酸化窒素吸入療法など、様々な重症度の疾患へ対応できるよう、準備しております。院内出生の見だけでなく、近隣施設からの母体搬送や新生児搬送も積極的に受け入れています。

当院NICUでは医師、看護師、助産師、理学療法士など、様々な職種が協力し、入院した児の治療、ケアに当たっています。児の疾患を治療するのみならず、ご家族と協力して児の成長を見守っていただけるよう、心がけています。私たちにお手伝いできることがありましたら、いつでもご連絡いただけますと幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

